

発行  
特定非営利活動法人  
あいち・子どもNPOセンター



〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目14-12 グランビル2B  
TEL&FAX : (052) 232-3655  
e-mail: aichi-kodomo@mountain.ocn.ne.jp  
HP : http://aichi-kodomo.com

# ACNC News Letter

## 「私のセカンドステージプラン」

藤原 辰志

年金生活をスタートさせた4月、旧知の岩根さんから「NPO法人あいち・子どもNPOセンター」の理事になるようにと(脅迫)電話があった。ちょうど美酒に酔って気宇壮大になっていたタイミングだったので思わず「はい」と答えてしまった。酔いがさめて反省しても、時すでに遅し。

総会に参加させていただいても何をやる会なのか、まだ良く分かっていないのだけれど、「何か少しでも貢献するよう努力しなければ」と思っていた矢先、この原稿を書くように指名された。この会のメンバーは、合気道の達人のように阿吽の呼吸術を身につけているのが隙がない。容赦なく攻めかかってくる。

そんな経緯でこの原稿を執筆することになった。私は今年の3月末で中部大学を辞し、晴れて「名年会」入りを果たした。「名年会」とはプロ野球の世界で「名球会」という言葉があるようなので、私が一人勝手に「名譽年金者の会」と命名した会である。会員はまだいない。私はセカンドステージを「ラグビーと山登り、畑仕事を軸に組み立てる」と決め、数年前からいろいろな計画と妄想を練り上げてきた。

ラグビーは、春まで顧問をしていた中部大学ラグビー部(愛称タイガース)が、東海地区大学リーグ戦で優勝し、全国大会に出場するよう応援することである。昨年惜敗した朝日大学と中京大学を粉砕する準備は整っているのだから、期待に胸が膨らむ。また、9月20日に開幕するラグビーワールドカップ2019日本大会で、ジョセフ・ジャパンがオールブラックスに勝利し、エリスカップを手にする瞬間が訪れることを願っている。

山登りは、穂高・槍の攻略ルートをシミュレーションして楽しんでいる。山岳地図を眺めながら横尾ルート、瀬沢ルート・北穂ルートをゼイゼイと息を弾ませながら登っている姿を想像して喜んでいる。夏休みに入る前に上高地に入ろうと思っているのだが、今年は長梅雨で計画が立たない。やっと時間にゆとりが出来たので、静かな上高地を歩けると期待していただけにモヤモヤしている。しばらくは地図の上を歩き回ることしよう。

次は畑仕事について紹介しよう。2年前に業者に依頼して裏庭の木を伐採し、土を入れてもらって小さな畑を作った。荒れ放題にしていた小屋も補強し、ミニ耕うん機や工具を入れて作業場として整備した。コンポストで土づくりからスタートさせ夏野菜の苗を購入して植えている。今年は5月にジャガイモの収穫を皮切りに、野菜

が元気よく育っている。きゅうりやナス、トマトをご近所に食べてもらうこともある。今は、スイカやかぼちゃの受粉作業が朝の目課になっている。



我が家では40年前から、早く帰宅した者が夕食の準備をするというルールがある。必然私の方が夕食を作る頻度が多い。いつの間にか料理の魅力にはまり、NHKの「きょうの料理」を録画して、同じようなものを作ってみようになった。しかし、出来栄は散々だ。

私が好きな番組は、季節の移り変わりごとに旬を彩る食材を調理するものだ。新生姜や山椒の実、梅の実など季節仕事を試している。「梅仕事」「なるくち」と知らなかった言葉に出会うと一人感動している。この国には素敵な言葉があるものだ。新生姜のジンジャーエールや実山椒、桃・プラム・梅のジャムをつくっている時は、SA・WA・SE! 15キロの梅仕事をしている時は、SA・KO・U!

こんな風に「名年会」を楽しんでいたら「年金だけでは暮らしていけないから2000万円貯金しなさい」と金融庁が国民の不安を煽り、不振にあえぐ金融会社を支えるために投資するよう呼びかける狂乱劇場が開演した。報告書の受け取りを拒否したのは、さながら名悪役がびたりとはまる副総理。主役は、相も変わらぬ舌足らずのおしゃべりで「嘘とごまかしを捲き立てる」ボクちゃん総理。村度官僚まで従えて、憐れな役者振りを遺憾なく発揮している。

長い間働き所得に依りて税金や年金を納め続けた国民は、この国を支え続けた名譽国民である。その人たちが安心して幸福に暮らしていける社会保障制度をつくるのが政治である。しかし、この国の為政者たちはそろそろもそろって真逆の政治を弄び続けてきた。平成16年には年金抑制策である「マクロ経済スライド」を導入した。さらにアホノミックスが成功しているように偽装するため、大切な年金財源で株を買い支え、株価が上昇したと囁く。「消えた年金」問題が未解決なのに、今度は博打で「消えた年金」にしようとしている。

年金制度を政争の具にするのではなく、本腰を据えて議論する政治を心から願う。

この原稿が上梓される頃には、参議院選挙の結果が出ていよう。国民の幸福を追求する権利を実現する勢力が大勝していることを信じている。

## 一人ひとりが生き生きと育つことが大切!!

### まなび場(私塾フリースクール)を訪ねて

平成31年2月24日(日)、あいち・子どもNPOセンターの理事でもある幸伊一郎さんが主宰するまなび場を訪ねました。

まなび場は、地下鉄鶴舞線いりなか駅から徒歩2分の所にあります。地下鉄から地上に出ると、目の前には塾。この辺りは、ここ数年、塾がどんどん増え塾の激戦区だそうです。本通りから一本奥に入った住宅街、昭和感のあるほっとできる和風の民家がまなび場です。室内は、秘密基地のようなコーナーがあり、あそび心がくすぐられるような空間です。



週に何日参加するか、どの時間帯に参加するか、どのように過ごすかは各自で選択します。現在は25名定員のところ、20名が登録し、毎日通ってくるのは小学生1名、中学生4名ということです。高卒の認定試験を目指すことができますが、中学卒業後は高校(公立単位制、私立、通信制等)に進学する人が多いそうです。

不登校になる要因として、学校生活の中で人との関係づくりが不器用でつまづきことがあげられます。そこで、まなび場では、対話やミーティング、雑談といった人と関わるプログラムを積極的に組み込まれています。

コミュニケーション力が学習意欲の基盤となっていると幸さんはおっしゃいます。友達との会話から知的好奇心がくすぐられ学習意欲が湧いてくるということです。コミュニケーションが苦しい人には一人ひとりにあったやり方でアプローチし、学習をすることから人間関係を作る糸口になることも多いそうです。

まなび場は・・・

人と過ごす：いろいろな年齢の人といっしょに過ごす中で自然なコミュニケーションが生まれます。気ままなおしゃべりも深刻な相談もできる場です。

まなびことを楽しむ：少人数での対話を通じて、本人の興味を持って学ぶことをスタッフがサポートします。強制されたり競争したりすることなく、自分のペースでゆったりと学んでいきましょう。

安心できる居場所：おしゃべりしたりボードゲームを楽しんでいる人、本や漫画を読んでいる人、ミニ卓球やダーツの対戦をしている人、パソコンに向かっていたり人々を描いている人もいます。のんびりとくつろげる空間です。

という空間、時間、仲間が保障された居場所で、伴走者として寄り添う幸さんに静かに見守られる中で、安心して過ごす子どもたちの姿が浮かび上がってくるようなひとときでした。

## ★あいち・子どもNPOセンター第33回学習会を開催します!!

### 弁護士さんに聞く 児童虐待とその対応

子どもの生命が奪われるそれも信頼する保護者によって...

マスコミをにぎわす痛ましく悲しい事件が起きないように

子どもの人権を、生命を守るべく、子どもの側に立って活動する弁護士さんから

児童虐待の実体と背景にあるもの、支援のあり方をお聞きします。

日時:10月27日(日) 10:00~11:30

場所:ウィルあいち セミナールーム4

定員:30名(定員になり次第締め切り)

参加費:一般 1,000円 学生、会員 500円

講師:福谷 朋子 弁護士

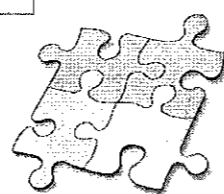
お申込み・お問い合わせ

氏名・参加人数・連絡先を明記の上、下記までメール、FAX、電話のいずれかでお申込みください。

NPO法人あいち・子どもNPOセンター

460-0024 名古屋市中区丸の内1-14-12 グランビル2B TEL/FAX 052-232-3655

E-mail aichi-kodomo@mountain.ocn.ne.jp



#### 講師プロフィール

1998年 弁護士登録  
2002年 久屋大通法律事務所開設  
2004年 児童相談センター嘱託弁護士  
2007年 NPO法人子どもセンター「パオ」参加 他多くの公職につく



2019年度若者・外国人サテライト塾事業

2017年度の文部科学省の「若者・外国人未来応援事業」から引き継いで、昨年度に続いて「若者・外国人サテライト塾事業」が開設できました。中学校卒業後進路未定、高校中退、不登校、引きこもり、外国人青少年等の学習支援を希望する青少年を対象に、主に高等学校卒業程度認定試験（毎年8月、11月）に向けての学習サポートをしていきます。7月10日から3月14日までの開設です。この事業も3年目になり、認知度も高くなっています。継続する受講生の方も4名の参加で、開設早々、1日の参加者人数が6名と過去最高を更新しました。60代の方も大学受験を目指して参加されています。

毎週水曜日 17:30~19:30 毎週土曜日 13:30~17:30

愛知県図書館5F 会議室研修室（名古屋市中区三の丸一丁目9-3）

※認定試験向けに以下の金曜日 14:00~17:00 実施  
 8月試験に向けて 7/12、19、26、8/2  
 11月試験に向けて 10/11、18、25、11/1

受講料・教材費無料

学習相談・支援実施体制

受講生の方の状況を聞かせていただき、個別で学習計画を立てて、個々の状況に合わせて基本マンツーマンで対応しております。

日本語学習支援

毎週火曜日 15:00~17:00  
 会場 愛知県生涯学習推進センター（名古屋市中区三の丸3-2-1 愛知県東大手庁舎2F）  
 一人一人の希望に合わせて勉強します。

PC学習

8月は20日、27日 15:00~17:00に実施します。学習内容はWord、Excel、PowerPointの初級の内容。2月にも2回実施予定です。  
 会場 愛知県生涯学習推進センター（名古屋市中区三の丸3-2-1 愛知県東大手庁舎2F）

第32回学習会報告

学童保育の現状とこれから

日時：平成31年3月21日（木祝）  
 10:00~12:00  
 場所：労働会館本館  
 講師：愛知県学童保育連絡協議会 賀屋 哲夫  
 参加：11名

保育園の待機児童問題のピークは2019年といわれていますが、保育園の入園を希望する0~2歳児はまだまだふえているのが現状です。保育園の延長保育の希望者数が増えるという事は、子どもが成長するにつれ、学童保育の需要が増していくことです。2025年から2030年の間が学童保育希望者のピークとの見方がおおかたです。ますます、学童保育のニーズが高まる事が予想される昨今、「学童保育の現状とこれから」について愛知県学童保育連絡協議会 賀屋さんにお話を伺いました。

学童保育の歴史を振り返ってみると・・・  
 1948年大阪の今川学園が始まりです。保育園を卒園したあとの放課後が心配され、保育園の職員室で学齢児を保育しました。1947年につくられた児童福祉法を使って保育したそうです。現在は子ども・子育て支援新制度の中で、放課後児童クラブについてふれられています。2015年度より新しい資格として「放課後児童支援員」が創設されました。これまでは、放課後児童クラブに有資格者の配置は義務ではありませんでしたが、2名以上の「放課後児童支援員」を配置することが義務付けられました。

学童保育の役割・・・

1. 「就労保障と子育ての社会的保障」  
 小学生を持つ保護者が安心して働き、子育てできる。
2. 「子どもの発達保障」  
 自分が習得してきたものを発揮し、自分が思ったことを話すことができる。自分を認める集団がある。発達に応じた生活ができる。

3. 「家庭支援」

核家族の増加で子育ての伝達がなく、子育て不安に陥りやすい。

先輩保護者の子育てアドバイスや専門知識を持つ学童保育指導員のアドバイスが有効。

学童保育の生活は「ただいま」「おかえり」で始まる生活。子どもが自ら帰ってくる昼間の家庭です。保護者代わりであり、お兄さん、お姉さんであったりするプロの子育て専門家である学童保育指導員の存在が不可欠です。

学童保育が抱える問題点と課題・・・

まずは、学童保育指導員不足があげられます。賃金は保育士の6/8、待遇が良くない事が大きな理由といえます。

また、学童の待機児童、大規模化の問題があります。国の基準・市町村の条例ができ2015年から施行されていますが、国の定めた基準40人を守る自治体は待機児童が出、住民の要求があるという理由で全員を受け入れ大規模化している状況があります。市町村事業であるため市町村の考え方で施策が決まってしまう。

一方、民間企業（人材派遣会社 大手スーパーなど）も参入し、おけいこの場いわゆるセレブ学童です。しかし、そこには子ども目線の生活はありません。

学童保育の要は、子どもを真ん中（子どもが主体）に保護者と学童保育指導員がタッグを組んで子どもを育てていくことです。そこを支える基準、条例そして施策のさらなる拡充が重要といえましょう。

（文責 岩根）